IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN

岩木川ダム統管だより

015号
2018年
7月31日

IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN IWAKIGAWA DAM TOKAN



▲雄大な津軽白神湖をバックに記念撮影。楽しかったね！！▲



▲みんなで力を合わせボート体験▲



▲自然素材を使っての「クラフト教室」の様子▲



津軽ダムイメージキャラクター
ペッカー君

平成３０年７月７日（土）に株式会社東奥日報社が主体となり、『トヨタソーシャルフェス２０１８』が実施されました。昨年に続き西目屋村での実施は２回目となります。『青森の貴重な自然と我々の生活との関わりを知り、未来に残す』ことを目的に、西目屋村・白神山地の大自然を満喫しながら、津軽白神湖周辺で清掃活動を行い、また、“カヌー・ボート体験”や自然素材を使用した“クラフト教室”も企画され、楽しみながら自然環境の保全について学ぶ事が出来るプログラムとなっています。

当日は、あいにくの雨が降る中での開催になりましたが、親子連れなどの参加者約１００名は、“世界自然遺産白神山地の玄関口”の清掃活動に汗を流し、清掃活動終了後は“カヌー・ボート体験”や“自然素材のクラフト教室”に参加し、普段体験することができない“非日常”を体一杯に感じていました。

岩木川漁協『ヒメマス』の放流 in 津軽白神湖





【主催者を代表して、岩木川漁業協同組合 丹藤監事の挨拶】

平成30年６月13日（水）時折小雨が降る曇り空の中、津軽白神湖パークにて岩木川漁業協同組合によるヒメマスの稚魚放流が行われました。

魚と子供たちのふれあいを目的に、今年で2回目となったこの行事には、西目屋村の西目屋小学校1年生から5年生と、田代保育園の年中・年長の子供たちが参加しました。

この日用意されたヒメマスの稚魚３，５００匹は、バケツに小分けにして入れられ、参加した子供たち全員と触れ合いながら放流されました。子供たちは「大きく育ってね～」と声を掛けながら、元気に泳ぐヒメマスの稚魚を見届けていました。



【みんなで並んで順番に放流しました】



【大きく育ってね！お魚さん】



【ヒメマスの水槽を興味津々に覗き込む子供たち】



▲表彰されました皆様の記念写真

優良業務・優良工事等 6団体を表彰

岩木川ダム統合管理事務所は、平成２９年度に完了・完成した業務・工事の中で成績が優秀で卓越した技術力や創意工夫があったもの、困難な条件を克服したもの等の４団体を選定し、７月１９日（木）に事務所長表彰を行いました。また同日、東北地方整備局長表彰も行われ、岩木川ダム統合管理事務所関係での２団体も表彰されました。

●東北地方整備局長表彰

【優良業務】
- ㈱建設環境研究所 東北支社　津軽ダム環境モニタリング調査業務

【優良工事】
- ㈱南建設　浅瀬石川ダム水質保全施設上屋新築工事

●岩木川ダム統合管理事務所長表彰

【優良業務】
- ㈱コルバック　弾力的なダム管理検討業務
- ㈱キタコン　津軽ダム流量観測等業務

【優良工事】
- 高樋建設㈱　津軽ダム村市地区跡地整備工事

【下請企業】
- ㈱丸勝小野商事　津軽ダム村市地区跡地整備工事



カヌージャパンカップ
西目屋大会

平成30年6月23日（土）から24日（日）にかけて、日本カヌー連盟主催「カヌーワイルドウォータージャパンカップ」第4戦と、西目屋村主催第17回「白神カップカヌー大会」が、西目屋村岩木川カヌー競技場で開催されました。

この大会には日本全国から選手が集まり、連日白熱したレースが展開されました。両日共天候に恵まれ、観戦に訪れたカヌーファンたちは、選手たちに熱い声援を送っていました。





【岩木川カヌー競技場の様子】

30th ASEISHIGAWA DAM 浅瀬石川ダム 竣工30周年

“沖浦ダム”を見に来ませんか？

浅瀬石川ダムは、洪水期（7/1～9/30）に備え、洪水調節のための容量を大きくとるため、洪水期に限って通常時の満水位よりも水位を低下させています。この水位の事を、**『洪水貯留準備水位』**といいます。
そのためこの時期は、浅瀬石川ダムの完成により水没した**『沖浦ダム』**がその姿を現し始めます。虹の橋から見ることができますので、是非お越し下さい。



浅瀬石川ダム竣工30周年
虹の湖
Nijino－Lake



浅瀬石川ダムイメージキャラクター
あっちゃんとパパ

“津軽ダム”を見学しました！

～　弘前大学農学生命科学部　地域環境工学科
学生の皆さん　～



平成３０年６月１６日（土）、弘前大学農学生命科学部地域環境工学科の学生の皆さんが、土木施工を学ぶ一環として津軽ダムを見学に訪れました。

毎年恒例の見学会になりますが、今年も津軽ダムに関わる貯水池周辺施設や設備を巡り、水質保全、環境保全、景観への取り組みについて理解を深める内容で進められました。学生たちは、見学中も熱心にメモを取り、疑問点については積極的に質問する姿が印象的でした。

今回の見学が、これから本格的に「地域環境工学」を学ぶ学生の皆さんの将来に、少しでも役立ってくれる事を願っています。



【水質保全施設の機能について説明】



【メモを取りながら熱心に説明を聞いています】



【歌碑とダムをバックに全員で記念撮影】



夏のライトアップ告知

★ 津 軽 ダ ム ★

昨年に引続き『お盆期間』に合わせて実施します。

30分間に7パターンのカラーに変化させ、白神山地の夜空と津軽ダムを幻想的に照らし出します。

詳細については、岩木川ダム統合管理事務所ホームページにて、ご確認ください。

●実施日　：平成30年8月10日（金）～19日（日）
●実施時間：１９：００～２１:００

●岩木川ダム統合管理事務所ホームページ　http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/

編　集　後　記

７月に入り、津軽ダム周辺も夏らしい暑さが続いています。ダム見学の案内でダムの中に入ると、寒暖差が約２０℃もあり、まるでエアコンが稼働しているかのような錯覚に陥ります。見学者からも『エアコンついてるの？』なんて質問を受けるのも一度や二度ではありません。是非、一度は体感しにいらして下さい。

話はがらっと変わりますが、昨年の今頃は非常に降雨が少なくダム湖の水位が下がり“目屋ダム”の天端が顔を出していましたが、今年は降雨に恵まれ、この原稿を書いている現在もダムから越流している状況です。今のところ目屋ダムが顔を出す気配はありませんが、状況に変化があれば当管理事務所ＨＰでお知らせしますので、こまめにチェックしてくださいね。（船水）

編集・発行
国土交通省　東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢138-2
TEL　0172-85-3035
FAX　0172-85-3061
岩木川ダム統合管理事務所
ホームページアドレス
http://www.thr.milt.go.jp/iwakito/